

第4次長崎市水産振興計画

## 第3章

### 計画の概要

- 1 基本施策
- 2 個別施策と取組方針

## 第3章 計画の概要

### 1 基本施策

長崎市第五次総合計画を踏まえ、第4次長崎市水産振興計画の基本施策を次のとおりとします。

水産業を環境変化に強く活気のある持続可能な産業にします

長崎市において、水産業は重要な基幹産業であり、雇用の創出や造船などの関連産業を含めた地域経済や、市民の豊かな食生活などの市民生活に対して大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、人口減少の加速化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大、ICT等の活用によるスマート水産業の進展など、近年、水産業を取り巻く情勢は大きく変化しています。

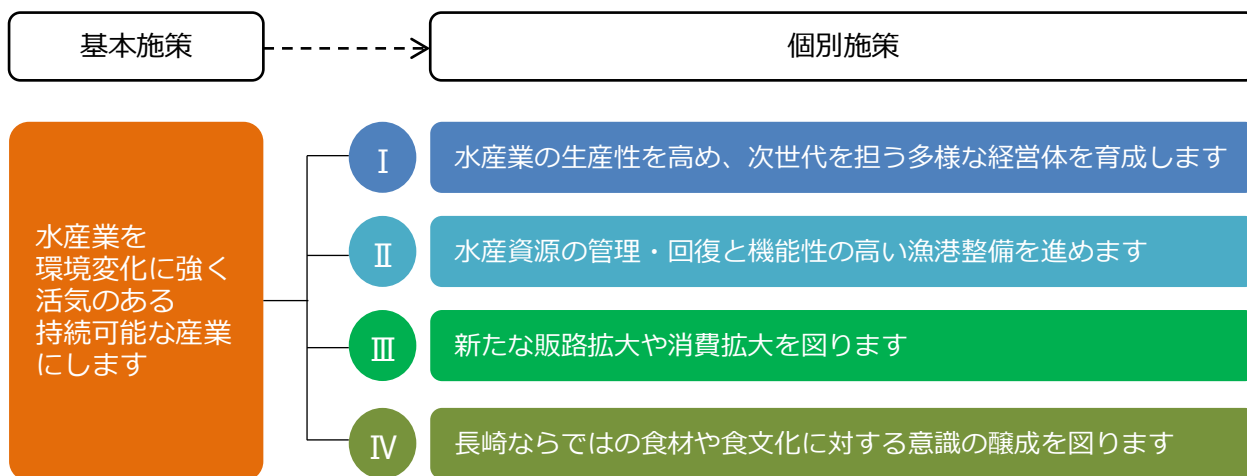
全国一といわれる水揚げ量の多さや全国有数の水揚げ量を誇る長崎魚市場など、長崎市の水産業の強みを活かしつつ、これらの変化に柔軟に対応していくことが、これからの長崎市の水産業の発展につながると考えます。

#### ■基本施策の成果指標

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
漁業生産量〔暦年〕	48,380 トン (H28~30年平均)	50,799 トン (R7年)	・ 地区内漁業者による各港への水揚げ総量。 ・ 「漁港港勢調査結果」により把握する。 ・ 基準値から5%増を目標とする。
市内産の水産物販売額	46.7 億円 (R2年度)	60.7 億円 (R7年度)	・ 市内産の水産物販売額。 ・ 市内8つの漁協からの報告(市内8漁協取扱金額)により把握する。 ・ 過去3年間の最高値(H30年度)を目標とする。
長崎市内で売られている水産物について新鮮さ、品数に満足している市民の割合	82.7% (R2年度)	82.7% (R7年度)	・ 市内で売られている水産物(新鮮さ・品数)に満足している市民の割合。 ・ 市民意識調査により把握する。 ・ 直近5年間(H28~R2年度)の最高値を目標とする。
市内産水産物及び加工品購入率	49.2% (R2年度)	50.7% (R7年度)	・ 代表的な市内産水産物及び加工品の市民の購入率。 ・ ながさきの「食」市民意識調査により把握する。 ・ 基準値から、過去4年間(H29~R2年度)の平均増加率である毎年度0.3%増を目標とする。

## 2 個別施策と取組方針

第4次長崎市水産振興計画では、基本施策を推進していくために、次の4つの個別施策を定め、施策を展開していきます。



### I 水産業の生産性を高め、次世代を担う多様な経営体を育成します

人口減少の加速化や激甚化する自然災害などの社会・環境変化に強い水産業経営の育成、ICT等の先端技術の活用による漁業者の生産性の向上を図るとともに、水産業の職業としての魅力を高め、水産業の担い手の確保に努めます。また、年々水揚量が増加している養殖業の成長産業化を推進するとともに、長崎市の豊富な水産物を活かした水産加工業の振興に努めます。

取組方針 I-1	環境変化に強い水産業経営の実現
取組方針 I-2	成長する養殖業の実現
取組方針 I-3	水産物の付加価値を高める水産加工業の振興

#### ■ 成果目標 ■

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
新規漁業就業者数	12人 (R元年度)	15人 (R7年度)	・漁業に新規で就業した者の人数。 ・関係団体への照会により把握する。 ・直近5年間(H27~R元年度)の平均値を目標とする。
平均漁業所得〔暦年〕	1,800千円 (H27~R元年平均)	1,944千円 (R7年)	・浜の活力再生プランによる漁業所得。 ・プランの達成状況報告により把握する。 ・プランが5年間で所得を10%増させる計画であるため、基準値から8%増を目標とする。
機器等の導入件数	20件 (R2年度)	30件 (R7年度)	・水産関係団体等が行う機器等の導入件数。 ・事業の実績報告により把握する。 ・基準値から10件増加させることを目標とする。
ICT等を活用したスマート水産業の取組件数	1件 (R2年度)	3件 (R7年度)	・スマート水産業の取組件数。 ・事業の実績報告により把握する。 ・基準値から2件増加させることを目標とする。

## II 水産資源の管理・回復と機能性の高い漁港整備を進めます

適正な資源管理と食害生物の駆除等による漁場環境の再生を図ることで、水産資源の早期回復に努めます。また、漁業者にとって安全で快適な漁港整備を計画的に進めることで、水産物の安定供給に努めます。

取組方針 II -1	水産資源の適切な管理と豊かな里海の再生
取組方針 II -2	漁港施設の総合的・計画的な整備

### ■ 成果目標 ■

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
漁場環境再生活動を行った海域の藻場の被度	43.9% (R 元年度)	44.7% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"><li>水産多面的機能発揮対策支援事業で藻場の再生を行った藻場の被度。</li><li>事業実績により把握する。</li><li>直近3年間 (H29~R 元年度) の最高値を目標とする。</li></ul>
漁協取扱漁業生産量	8,739 トン (R 元年度)	8,739 トン (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"><li>市内8漁協における漁業生産量。</li><li>市内8漁協の地区内水揚量の合計により把握する。</li><li>基準値を維持することを目標とする。</li></ul>

## III 新たな販路拡大や消費拡大を図ります

「長崎の魚」の消費拡大につながる民間の活動への支援や DMO との連携による域外への広報を図ることで、市内水産物の消費拡大に努めます。

取組方針 III -1	「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
-------------	------------------

### ■ 成果目標 ■

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
「長崎の魚」の観光客認知度	56.1% (R2 年度)	66.1% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"><li>「長崎の魚」の観光客認知度。</li><li>長崎市国内観光客動向調査により把握する。</li><li>毎年2%の増を目標とする。</li></ul>
市内農水産物直売所の売上額	28.9 億円 (R 元年度)	29.5 億円 (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"><li>市内農水産物直売所の売上額の合計。</li><li>直売所等への調査により把握する。</li><li>直近5年間 (H28~R2 年度) の最高値を目標とする。 (異常値を除く)</li></ul>

## IV 長崎ならではの食材や食文化に対する意識の醸成を図ります

長崎ならではの食材や鯨食をはじめとした食文化に触れ合う機会を創出することで、長崎の「食」に対する市民の理解向上に努めます。

取組方針 IV -1	長崎ならではの食材や食文化の発信
------------	------------------

### ■ 成果目標 ■

成果指標	基準値	目標値	指標の説明
市内産水産物の市民認知度	88.2% (R2 年度)	88.2% (R7 年度)	<ul style="list-style-type: none"><li>市内水産物の市民認知度。</li><li>ながさきの「食」市民意識調査により把握する。</li><li>直近3年間 (H30~R2 年度) の最高値を目標とする。</li></ul>